

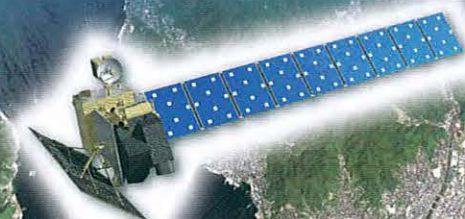


第21回  
企画展

# 宇宙をみる 地球をみる

が ぞう ぼし ち きゅう  
画像でわかる 星のかたち、地球のなりたち

会 期 平成24年6月20日(水)～8月20日(月)



陸域観測技術衛星「だいち」が観測した呉市周辺

©JAXA

場 所 大和ミュージアム1階 大和ホール  
料 金 一般(大学生以上) 400円(800円)  
高校生 300円(500円)  
小・中学生 200円(300円)

※( ) 内料金は常設展示とのセット料金

※ 呉市内に在住、在学の高校生以下は無料

開館時間 午前9時～午後6時

※ ただし8月11日～15日は午後7時まで開館

休 館 日 毎週火曜日[ただし 7.18(水)～8.20(月)は無休]  
主 催 呉市海事歴史科学館《呉市制110周年記念事業》  
後 援 宇宙航空研究開発機構(JAXA)  
海洋研究開発機構(JAMSTEC)  
協 力 株式会社 ニコン  
お問合せ 〒737-0029 広島県呉市宝町5番20号  
TEL:0823-25-3017 FAX:0823-23-7400  
<http://www.yamato-museum.com>

開催中 小惑星探査機「はやぶさ」特別展 ヤマトギャラリー 

ヤマトギャラリー 零 〒737-0046 広島県呉市中通3丁目3-17 問合せ 0823-36-3902

## ごあいさつ

戦艦「大和」を建造した造船、鉄鋼をはじめとした各種の建造技術は、ものづくりの礎として、戦後の私たちの生活に大きな影響を与えました。同様に戦後本格化した人類による宇宙開発は、現代の私たちの生活には欠かせない存在となり、大きな成果をあげています。

本企画展では、木星や土星で行った人類の惑星探査などから、天体観測の歴史を紹介します。また「人工衛星から観測した地球」という視点から、日本や世界の画像データを中心に、新しい技術とその応用について探ります。さらに、天体のみならず海洋探査についても紹介し、地球規模での観測における今後について考えます。

ご来館いただきました皆様に、本企画展をとおして、科学技術の素晴らしさをお伝えし、宇宙や地球により一層関心を持っていただく契機となれば幸いです。

大和ミュージアム 館長 戸高 一成

## 関連イベント 参加無料

★企画展開催前の特別講演会★  
「だいち」でわかった地球のすがた

日時：6月17日(日)  
場所：1階大和ホール  
演者：大木 真人氏 (JAXA地球観測研究センター開発員)

定員  
50名

★ワークショップ★  
分光器をつくろう

日時：7月16日(祝)、8月13日(月)  
14:00~15:00受付  
場所：3階実験工作室

★工作教室★  
天体望遠鏡づくり

日時：7月29日(日)、8月5日(日)  
14:00~16:00  
場所：3階実験工作室

※事前申込制、材料費 500円

※7/1(日)~7/7(土)でメール、ファックス又は往復はがきにて申込

定員  
各20名  
(小学生)

★サイエンスショー★  
地球から飛び出そう!

日時：6月17日(日)~8月26日(日)  
の毎週日曜日  
11:00~ 15:00(各30分)  
※6/24、7/29、8/5は午前のみ  
場所：3階実験工作室

★JAXA宇宙教育指導者育成セミナー★  
ベーシックコース、スキルアップコース(衛星データ)

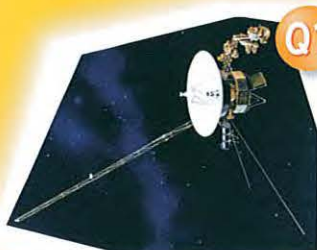
開催  
予定

【問い合わせ・申込先】 呉市海事歴史科学館学芸課まで

TEL:0823-25-3047 FAX:0823-25-3982 メール:kaizi@city.kure.lg.jp

## 主な展示&たんけんクイズ

会場でクイズの答えを探そう!  
全問正解して記念品をゲットしよう!



Q1

木星や土星を観測したボイジャー2号を打ち上げたのは、どこの国でしょう?

- ①アメリカ  
②ソ連  
③日本

こたえ



Q2

周回衛星「かくや」が地形などのさまざまな観測をした場所はどこでしょう?

- ①太陽  
②月  
③地球

こたえ

©JAXA

このチラシ表側の呉市周辺画像は、人工衛星「だいち」がいつ観測したものでしょう?

- ①2005年4月  
②2007年5月  
③2011年6月

こたえ



Q3

©JAXA

展示室にあった人工衛星「きずな」の模型の縮尺は、次のうちどれでしょう?

- ①1/8  
②1/16  
③1/32

こたえ



Q4

©JAXA

## ニンテンドーDSガイドのサービス

ニンテンドーDSを持って大和ミュージアムに行こう! 企画展がさらに楽しめます。(ニンテンドーDSの貸出はしていません。)

## 宇宙開発のあれこれ 地球観測のあれこれ

1957年の旧ソ連による人類初の人工衛星「スプートニク1号」が打ち上げられて以来、人類の宇宙開発は、旧ソ連とアメリカを中心に展開されました。有人月面探査や惑星などの観測が行われ、様々な成果を残しています。近年では、多くの分野で国際的な協力のもと、国際宇宙ステーションを中心とした、宇宙環境利用の新しい展開が期待されています。

宇宙開発だけでなく、地球上の人々の暮らしに役立つ人工衛星の打ち上げや開発が積極的に行われています。現在、気象衛星や地球観測衛星、通信・放送衛星など、さまざまな人工衛星が活躍しており、今後新たな分野への応用も期待されています。また海底探査についても、地球深部探査船などにより、資源開発といった調査研究が行われています。

電車 JR呉駅から徒歩5分  
バス 宝町中央循環線「ゆめタウン大和ミュージアム前」下車徒歩1分  
フェリー 呉中央桟橋から徒歩約1分  
自転車 クレアライン呉ICから5分  
駐車場 第1専用駐車場:65台 / 1時間100円(24時間営業)  
第2専用駐車場:220台 / 1時間100円(8:00~24:00)



限定販売中 大和ミュージアム・ヤマトギャラリー零 共通券(記念品付き)

販売・問合せ ミュージアムショップやまと 0823-32-1123